

教科に関する調査 正答率 [算数]
埼玉県教育委員会

集計結果

	学校数	児童生徒数				平均正答率			
		冊子1	冊子2	冊子3	合計	冊子1	冊子2	冊子3	全体
埼玉県	709	16,777	16,699	16,628	50,104	64.8	67.4	67.2	66.5

分類・区別集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率
			埼玉県
教科の領域等	数と計算	22	73.5
	量と測定	8	53.3
	図形	8	58.3
	数量関係	8	69.5
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	-	-
	数学的な考え方	3	39.8
	数量や図形についての技能	18	73.4
	数量や図形についての知識・理解	25	67.3
問題形式	選択式	17	62.4
	短答式	28	72.3
	記述式	1	20.3

設問別集計結果

冊子番号			問題の概要	出題の趣旨	教科の領域等				評価の観点			問題形式		埼玉県		
1	2	3			数と計算	量と測定	図形	数量関係	算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	選択式	短答式	記述式	正答率(%)
1(1)		1(3)	整数と1桁の小数のひき算の計算をする	小数第1位までの減法の計算をすることができる	○					○		○			81.0	0.8
1(4)	1(3)		3桁×2桁(空位あり)を計算する	空位のある整数の乗法の計算をすることができる	○					○		○			73.8	1.0
	2(3)	2(3)	除法の文章題を解く	求める方法に除法が用いられることを理解し、実際に求めることができる	○					○		○			88.8	1.8
2(5)	2(5)	2(5)	3桁-3桁の筆算(繰り下がりがり)の間違いを選ぶ	3位数の減法の筆算の仕方について理解している	○					○	○				90.7	0.7
3(1)	3(1)	3(1)	単位分数の大小を比較する	分子が同じ数の場合の異分母分数の大小を単位分数に着目して比較できるかをみる	○				○			○			66.3	1.8
5(1)	5(1)	5(1)	時間の単位換算をする	時間の換算を行うことができる		○				○		○			85.3	1.5
5(2)	5(2)	5(2)	高さの量感として適切なものを選ぶ	長さの単位(m)について理解し、およその高さを判断することができる		○				○	○				37.4	0.9
7	8	7	折り紙を利用して作られる三角形の名前を答える	示された操作の意味を理解し、できる図形の形と大きさを判断する			○		○			○			32.9	8.3
8	9	8	作図(コンパスの使い方)として適切なものを選ぶ	円の中心と半径について理解し、コンパスを正しく用いることができる			○			○	○				61.3	1.5
10(1)	11(1)	10(1)	除法を用いる場面を選ぶ	数量の関係を表した式を言葉を用いて説明できる			○			○	○				81.2	2.4
11	11(3)	11	文章を線分図で表した図を選ぶ	わからない数を□とし、折り紙の枚数の求め方を図と関連付けて理解している			○			○	○				79.3	3.9
1(2)		1(4)	小数の加法の計算をする	繰り上がりのある小数の加法の計算をすることができる	○					○		○			81.9	0.5

教科に関する調査 正答率 [算数]
埼玉県教育委員会

集計結果

	学校数	児童生徒数				平均正答率			
		冊子1	冊子2	冊子3	合計	冊子1	冊子2	冊子3	全体
埼玉県	709	16,777	16,699	16,628	50,104	64.8	67.4	67.2	66.5

分類・区別集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率
			埼玉県
教科の領域等	数と計算	22	73.5
	量と測定	8	53.3
	図形	8	58.3
	数量関係	8	69.5
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	-	-
	数学的な考え方	3	39.8
	数量や図形についての技能	18	73.4
	数量や図形についての知識・理解	25	67.3
問題形式	選択式	17	62.4
	短答式	28	72.3
	記述式	1	20.3

設問別集計結果

冊子番号			問題の概要	出題の趣旨	教科の領域等				評価の観点			問題形式		埼玉県			
1	2	3			数と計算	量と測定	図形	数量関係	算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)
1(3)			帯分数の加法の計算をする	帯分数の加法の計算をすることができる	○					○			○			89.6	0.5
1(5)	1(4)		3桁÷2桁を計算する	除法の計算をすることができる	○					○			○			85.8	2.5
2(1)			大きい数を算用数字で書く	億の単位について理解している	○					○			○			72.5	0.8
2(2)			わり算の決まりを使う	除法の性質について理解している	○					○			○			55.2	6.5
2(3)		2(4)	除法を利用する文章題を解く	求める方法に除法が用いられることを理解し、実際に求めることができる	○						○		○			50.9	6.6
2(4)	2(4)		剰余の性質から式を選ぶ	余りのある除法の場面において、被除数を求める式について理解している	○						○	○				59.9	2.6
3(2)	3(2)	3(2)	数直線を利用して同値分数を書き出す	同じ大きさの分数を数直線と関連付けて求めることができる	○						○		○			87.5	3.4
4	4	4	計算の工夫を基に計算する	示された計算の工夫を基に、異なる数値の場合でも工夫して計算する方法を記述できる	○					○				○		20.3	10.6
5(3)	5(3)		面積の量感として適切なものを選ぶ	面積についての感覚を身に付けている		○					○	○				18.5	1.3
6(1)			三角定規の性質を基に、角の大きさを求める	三角定規の性質を基に、角度を求めることができる		○						○	○			55.8	3.6
6(2)		6(1)	重なり合った部分の面積を求める	正方形の面積の求め方について理解している		○					○		○			56.9	3.6
9(1)	10(1)		正方形とひし形の性質についての特徴を選ぶ	正方形とひし形の定義と性質について理解している			○					○	○			46.7	1.9
9(2)		9(2)	立方体の垂直な辺について適切なものを選ぶ	立体図形の辺と辺の垂直の関係を理解している			○					○	○			74.2	2.1
9(3)			ものの位置の表し方(二次元)について適切に表す	ものの位置の表し方について理解している			○					○	○			76.3	4.0

教科に関する調査 正答率 [算数]
埼玉県教育委員会

集計結果

	学校数	児童生徒数				平均正答率			
		冊子1	冊子2	冊子3	合計	冊子1	冊子2	冊子3	全体
埼玉県	709	16,777	16,699	16,628	50,104	64.8	67.4	67.2	66.5

分類・区別集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率
			埼玉県
教科の領域等	数と計算	22	73.5
	量と測定	8	53.3
	図形	8	58.3
	数量関係	8	69.5
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	-	-
	数学的な考え方	3	39.8
	数量や図形についての技能	18	73.4
	数量や図形についての知識・理解	25	67.3
問題形式	選択式	17	62.4
	短答式	28	72.3
	記述式	1	20.3

設問別集計結果

冊子番号			問題の概要	出題の趣旨	教科の領域等				評価の観点			問題形式		埼玉県		
1	2	3			数と計算	量と測定	図形	数量関係	算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	選択式	短答式	記述式	正答率(%)
10(2)	11(2)		量の変わり方(図形融合)を選ぶ	二つの数量の関係を□、△などの記号を用いて式に表すことができる			○		○		○				53.0	3.9
12		12	四則計算(複合図形の求積融合)の式から適切な図を選ぶ	四則混合の式の意味について理解している			○		○		○				77.0	4.4
13			折れ線グラフ(2量の比較)の読み方として、適切なものを選ぶ	折れ線グラフの読み方について理解している			○		○		○				67.9	4.5
	1(1)		分数の加法の計算をする	同分母の分数の加法の計算をすることができる	○				○		○				97.3	0.1
	1(2)	1(2)	帯分数の減法の計算をする	同分母の分数の減法の計算をすることができる	○				○		○				71.4	1.1
	1(5)		小数の除法の計算をする	小数第2位までの除法の計算をすることができる	○				○		○				76.5	2.4
	2(1)		四捨五入して概数で表す	示された位までの概数にする際、一つ下の位の数を四捨五入して処理する方法について理解している	○					○	○				70.5	1.5
	2(2)	2(2)	小数の乗法(文章題)を解く	小数の乗法を用いて、実際に求めることができる	○					○	○				80.6	1.6
	6		分度器で示された角の大きさを答える	分度器の使い方を身に付けている		○				○	○				87.2	0.9
	7	6(2)	正方形と長方形の求積として適切なものを選ぶ	正方形と長方形の面積の求め方について理解している		○				○	○				60.3	1.1
	10(2)		展開図(重なる辺)について適切に書く	直方体の展開図について理解している			○			○	○				79.9	2.4
	10(3)	9(3)	ものの位置の表し方(三次元)をもとに頂点の位置を書く	ものの位置の表し方について理解している			○			○	○				71.7	4.5

教科に関する調査 正答率 [算数]
埼玉県教育委員会

集計結果

	学校数	児童生徒数				平均正答率			
		冊子1	冊子2	冊子3	合計	冊子1	冊子2	冊子3	全体
埼玉県	709	16,777	16,699	16,628	50,104	64.8	67.4	67.2	66.5

分類・区別集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率
			埼玉県
教科の領域等	数と計算	22	73.5
	量と測定	8	53.3
	図形	8	58.3
	数量関係	8	69.5
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	-	-
	数学的な考え方	3	39.8
	数量や図形についての技能	18	73.4
	数量や図形についての知識・理解	25	67.3
問題形式	選択式	17	62.4
	短答式	28	72.3
	記述式	1	20.3

設問別集計結果

冊子番号			問題の概要	出題の趣旨	教科の領域等				評価の観点			問題形式		埼玉県		
1	2	3			数と計算	量と測定	図形	数量関係	算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	選択式	短答式	記述式	正答率(%)
	12		四則計算(複合図形の求積融合)の式から適切な図を選ぶ	四則混合の式の意味について理解している			○		○		○				81.4	3.8
	13	13	二次元表から人数を求める	資料を分類整理し、特徴や傾向をとらえることができる			○		○			○			37.9	9.6
		1(1)	小数の減法の計算をする	小数第2位までの減法の計算をすることができる	○				○			○			87.5	0.4
		1(5)	2桁÷2桁(余りあり)を計算する	あまりのある整数の除法の計算をすることができる	○				○			○			78.8	2.5
		2(1)	位の数を答える	数の位について理解している	○						○	○			95.0	0.4
		5(3)	面積の量感として適切なものを選ぶ	面積についての感覚を身に付けている		○					○	○			17.5	1.1
		9(1)	四角形における平行、垂直の特徴を理解し適切な説明を選ぶ	四角形の特徴を理解している			○				○	○			51.2	2.3
		10(2)	量の変わり方を選ぶ	二つの数量の関係について理解している			○		○		○				75.7	3.9